

蒲郡公民館（中部市民センター）



**問** 老朽化と耐震強度に不安がある現施設の改善計画をどう考えているか。

**答** 全国24競艇場の中で最も老朽化が進み、施設改善を検討する時期にきている。コンパクトで災害時の避難場所として利用できる施設を検討したい。

**鎌田篤司（市政クラブ）**

蒲郡公民館、がまごおり児童館の改善計画は

**問** 蒲郡公民館（中部市民センター）は、市内の公民館では一番古い建物であり、耐震診断でも要改修の判定が出ている。早急に

対策が必要だと考えるが、市の考えはどのようなか。

また、老朽化、手狭さが目立つ、がまごおり児童館の改善計画を伺う。

**答** 蒲郡公民館の建替えの必要性は十分承知している。建替えをするなら、平成22・23年を考えている。

がまごおり児童館の改善は、南部保育園、蒲南小学校を含めた一体的な整備を考えていきたい。

**地域活動奨励交付金の今後の交付額について**

**問** 地域活動の大切な原資である地域活動奨励交付金を、新年度に向けてどのように考えているか。

**答** 平成20年度の交付額は、今年度と同額としたい。21年度以降の地域活動奨励交付金については、問題解決に向け引き続き総代連合会と検討を続けていきたい。

**大竹利信（公明党）**

緊急地震速報を活用するための取り組みは



**問** 緊急地震速報を有効に活用するための今後の取り組みについて伺う。

**答** 家庭や職場等で速報発表時の行動マニュアルを事前に作成しておくことが必要不可欠である。

市では、現在各課の初動マニュアルの見直しを行っており、速報が発表された際の対応も追加するよう指導していく。また、地域や小中学校、保育園等にも訓練を実施していただくようお願いしていく。

**「ご当地検定の実施を**

**問** 地域への理解を深め、おもてなしの心を次世代に語り継ぐために、全国的に話題となっている「ご

当地検定」を実施し、観光振興に役立ててはどうか。

**答** 今年度中に旅館、観光なしコンシェルジュ（観光総合案内人）養成講座を行う。来年度には検定試験を実施し、将来は市民にも参加の枠を広げていきたい。

**伴 捷文（市政クラブ）**

広域消防への考え方

**問** 消防の広域化への選択の時期が近づいてきているが、広域消防に対する市の基本的な考え方を伺う。

**答** 現在、広域化案の検討が行われており、来年1月か2月には最終決断を



迫られるものと考えている。今後は県が示す広域化案の説明を受けながら検討していくが、現段階では市民サービスが向上できなければ広域化すべきでないと考えている。

**地上デジタル放送の難視聴地区精査は**

**問** 2011年にデジタルテレビ放送に移行するが、市内の一部で新たな電波障害が発生すると聞く。地上デジタル放送を前に、難視聴地区を精査する考えはあるか。

**答** 総務省が各放送事業者に対して指導を進めているので、市としては、今すぐ不感地区を精査することとは考えていない。放送事業者がどのような対応をとるかを見守りたい。

**飛田常年（市政クラブ）**

ごみの資源化、減量化への取り組みは

**問** 市は毎年、ごみ処理費に多額の経費をかけて